



ご家庭にもガス空調が広がっています



「ハウジングマルチ」の室外機

電子商取引に対応

今後急速に拡大が予想される電子商取引(EC)に対応するため、昨年11月社内に「電子商取引推進委員会」を設置し、ガス機器のマーケティングや購買物流、新規事業などにおけるECの事業性および活用について検討しています。2月にはインターネット上で、ガス機器販売のテストマーケティング(関係会社を通じて実施)を開始しています。



大阪ガスのホームページには、ガスの開閉検受付やガス機器販売、会社概要などさまざまな情報が満載

伸び続けるガス空調

ガスヒートポンプ(GHP)でのガス空調の累積設置容量が、中小ビルや学校、量販店などを中心に、1月末には150万kWを超えました。ガス空調の普及は、夏の電力需要のピークカットにも貢献しています。特に家庭用に開発したガスヒートポンプ「ハウジングマルチ」の販売は、前年比215%と大きな伸びとなっています。

さまざまな用途に広がる ガスコージェネレーションシステム

ガスエンジンなどで電気と熱を作るガスコージェネレーションシステムは、エネルギー効率や環境特性に優れていることから、地域分散型エネルギーシステムとして普及が進んでいます。3月末には、651件のシステム(累積設置容量98万kW)が大型ビルや工場、公衆浴場、飲食店などさまざまなところで活躍しています。平成11年11月には浄水場にも設置され、新たな用途として広がりを見せています。



コージェネレーションの排熱が、浄水プロセスに利用されています



ガスコージェネレーションシステム